携がう

しない状態で処分場に置かれたまま。

緊急時の NEMO

重機や車両の確保、

に承認されたのです に必要な重機の配備を

が、

ほとんど稼働

態管理庁(NEMO) するすべての管理をト 家非常事態宣言下では、

は処分場での廃棄物処理

N E M O 両者の連

「トンガにおいて今

回の

しまった。

災害廃棄物管理と3

|廃棄物管理

重要なテーマとして取り上げられてきた。 これまでの島サミットでも太平洋諸国の廃棄物管理が -8年5月18~ 19日、福島県いわき市で「第8回太平洋・島サミット」が開催される

同地域で取り組むプロジェクトの現状を報告する。

イクロン「ジータ」の後、 害廃棄物が大量に運び込まれた プピア処分場。アクセス道路が新設され、 みの種類によって廃棄場所が 分けされている Tonga

首都:ヌクアロファ

公用語:トンガ語、英語

過した翌朝

道路には「グリ

の屋根は吹き飛ばされ、

1週間以 嵐が通

街中の木や電柱は倒れ、

人的被害はなか

2

も停電や断水が続いた。

ウェイスト」(木などの廃棄物)

住宅の廃材があふれ、

その前で

人口:約10.6万人(2015年)

通貨:パアンガ

を提供するバ 害時の経験は、 教育訓練(〇丁 大きさに活動スケジュ だった。しかし、被害のあまり から」と、 よ変更し、WAL職員への緊急 廃棄物の処理プロ 丁丁)を実施した。「災 バウ島でも生かさ WAL がサ ルを急 ービス 0) クセス道路



週間ほどストップ

した。

生活ごみの収集サ

ごみがたまり、

両を8台所有しているが、

機の不足とメンテナンス不良です」

廃棄物管理の課題に気づいた。

かで、

小田され

スを記録に残した。

作業の〇

を実施す



れたので、

その申し出をすぐにラ

という住人がラジオ局に電話をく ちの土地に捨ててもかまわな ように」と呼びかけた。すると、「う

その課題解決のために、

今、

土地所有者の承諾は得る

ジオ局が放送したところ、

処分場

提供された道路沿

1 0 ンウェイストを運べな

WALの社長によるラジオで の呼びかけに応じた道路 脇の土地所有者が、グリ・ ンウェイストの仮置き場とし て土地を提供した

トラックに積まれたグリーンウェイストが運 び込まれるタプヒア処分場。受付の女 性が、搬入者の名前や廃棄物のカテゴ リーなどを記録する

社長、 乱を避けることができるはず」 空き地に捨てることができた。 う小田さんの提案に、 成して周知しておけば、 に10か所ほど設定し、 までグリ 「災害廃棄物の仮置き場を島全 、住民が、 11年にスタ

非常時に混 マップを作

前向きな検討を約束した。

A L

0)

٤

した

にわたる タ の経験もそこには生かされること 始まっている。 地域全体での災害廃棄物管理ガ その取り組みの一 S M U によるトンガでの廃棄物管理 インの作成がサモアを拠点に フ 17年2月から5年間 · ズ 2 _ つの柱として、 ークロン に入り、 「ジ

大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクトフェーズ2 (J-PRISM2) (2017年2月~2022年2月) 大洋州の地域全体で行うプロジェクト。①「大洋州地域廃棄物・汚染管理戦略」の達成度のモニタリング、②域内の廃棄物管理の専門家の育

〔プロジェクト紹介〕

成、③災害廃棄物管理ガイドラインの作成、④域内の有価物を輸出す 災害多発地共大洋州は るための「3R+リターン」という、四つのテーマを柱に取り組んでいる。

サイクロン「ジータ」はトンガの首都ヌクアロファ のあるトンガタプ島に上陸。甚大な被害とともに 大量の災害廃棄物が発生した



たという。

住民たちは呆然と立ち尽くして

害廃棄物は、

トンガ保険省から委託

街のい

たるところに堆積した災

だけでなく、

般の住民も率先し

よって処理が始 を受けた廃棄物公社

めら

れた。

W A L

500円で提供されて

いる W A

島に展開するためのも

0) 0)

・ビスを、

離島

ンガタプ島で1世帯につき月額約

-PRISM2の活動として

だった。

小田さんの今回の派遣目的は、

のだが、

それは長い列を成す

ぼど

唯一のタプヒア処分場に運び込む

をトラックに積み、

トンガタプ島

ンウェイ

ストや粗大ごみ

廃棄物管理の改善の専門家としてトンガ で活動。サイクロン「ジータ」による災害 廃棄物の処理を現地スタッフへのOJTを

小田真之介さん

に滞在

していた小田真之介さん

「私が聞いたかぎりでは

ロジェクト専門家として現地

ガ王国に上陸した。

国際航業

去最大規模のサイ

クロン」とのこ

ンガタプ島に上陸したなかで過

通じてサポートする。

リターン」を実現 組合を設立し

が不可欠だと感じました」

そんななか、「もう処分場はいっ

ごみは受ける

入れてもらえ

そして災害廃棄物の受け入れ計画

の処理困難物を海外へ輸出すると 嶼国ならでは取り組みだ。 クル可能な資源や有価物など (再資源化)の3Rに、 「リターン」を加えたもので、 「3R+リター RISM2」の活動の柱 リデュー - ス (再使用)、 ス(ごみ発生抑 ン」も挙げ

ジオで国民に、「沼地があればグ

不法投棄とは見なしませ ンウェイストを捨ててくださ 交った。そこで、WALの社長はラ

という根拠のない噂が飛び

使用できる期間も短く 設立が進められている。人口の少 処分場行きとなるため、 が行われなければごみとして最終 価格によっては赤字になったりす 燃料費がかさみ、資源の買い取 時間がかかったり、 ない国では、 るなどの困難がつきまとう。 一定の資源ごみ量が集まるまでに のリサイクル業者による組合 ることで リターンしようにも 域内の国々でま 運搬する船の なってし 処分場を 輸出 8 0)

全体で議論がさ について、 の設置場所など 拠点となる施設 クルや輸出 Rで集めた 地域 0)

れて

ルセンター。一定量が集まったところで船に積み、海外へ輸出する

リサイクルのためアルミ缶を梱包しているパラオのコロール州のリサイク

May 2018 mundi 14

ン「ジー

タ」が大洋州の島国、

今後の廃棄物管理に生かす

ロンによる経験を

18年2月12日、